

教 育 委 員 会 資 料  
令 和 6 年 6 月 27 日  
生 涯 学 習 課

## 令和5年度生涯学習課が所管する施設の指定管理業務事業報告について

令和5年3月8日開催第6回教育委員会において承認を得た「令和5年度の生涯学習課が所管する施設の指定管理業務」について、下記により令和5年度の事業の実施状況について報告する。

### 記

- |   |   |               |
|---|---|---------------|
| 1 | 八ヶ岳荘指定管理業務にかかる事業報告の概要                       | 【資料1】・・・P. 2  |
| 2 | 榛名林間学園指定管理業務にかかる事業報告の概要                     | 【資料2】・・・P. 6  |
| 3 | 教育科学館指定管理業務にかかる事業報告の概要                      | 【資料3】・・・P. 10 |
| 4 | グリーンカレッジホール（旧シニア学習プラザ）<br>指定管理業務にかかる事業報告の概要 | 【資料4】・・・P. 15 |
| 5 | 郷土芸能伝承館指定管理業務にかかる事業報告の概要                    | 【資料5】・・・P. 21 |

## 令和 5 年度八ヶ岳荘指定管理業務にかかる事業報告の概要

生涯学習課

### 1 施設利用状況

令和 5 年度利用者数 延 17,592 人

区分	区立中学校 移動教室等	青健事業	一般	キャンプ 施設	アウトドア キッチン	合計
令和 5 年度	6,336 人	1,337 人	6,306 人	570 人	3,043 人	17,592 人
令和 4 年度	6,689 人	140 人	5,217 人	566 人	2,209 人	14,821 人
前年度比 (増減数)	94.7% (353 人減)	955% (1,197 人増)	120.9% (1,089 人増)	100.7% (4 人減)	137.6% (834 人増)	118.7% (2,771 人増)

令和 5 年度の総利用者数は、延べ 17,592 人となり、前年度と比較し 2,771 人増（前年度比 118.7%）となった。

令和 5 年度は、コロナ禍以降の社会環境変化に伴い、一般の利用者が増加したことや、移動教室・青健キャンプ（青少年健全育成地区委員会活動事業）とも、計画どおり実施できたことで、コロナ禍以前の令和元年度実績（20,023 人）に対して、87.9%まで回復した。

### 2 管理運営業務実施状況

#### （1）施設の管理運営

受付業務、食事提供、衛生管理など、運営業務全般において事業計画に基づき適正に運営を行っていた。受付業務では、利用者アンケート「スタッフの対応の親切さ」における「満足」「ほぼ満足」の割合が 9 割を超えており、親切・丁寧な接客に努めていたと評価できる。

一方で、「備え付けている備品・用具の種類」については、接客と比較して「満足」の割合がやや低下しており、長寿命化改修以降、民間の宿泊施設と同様の備品要望が寄せられている。

食事提供・衛生業務については、食品衛生管理マニュアルに基づいた衛生管理や外部衛生検査に努めている。食事メニューについては、令和 4 年度に引き続き、選択できる食事を増やし（団体夕食・朝食を 3 種類用意）、利用者サービスの向上に努めた。食品に関する事故防止については、食物アレルギー対応マニュアルの再確認や、職員研修を通じて周知等を実施したが、食品提供に関する事故が複数回発生した。この事故を受け、食堂配置人員の見直し、代表企業の関与も含めたアレルギー対応フローの刷新、食品衛生研修の増加による意識啓発を行った。

その他、スタッフの指導・育成についても、計画的に研修等を行い、関係法令や個人情報保護の保護取扱規準等の順守など、安全で安定した施設運営に取り組んでいる。

## （２）設備の維持管理

建物維持管理、備品管理、清掃・環境衛生管理・植栽等の維持管理、設備保安業務については、法定点検、日常点検を適切に実施し、いつでも問題なく稼働できるよう努めている。施設・設備の修繕工事は、必要性のある修繕か精査し、計画書の範囲内で行われていた。

その他、消防設備保守点検や建築設備定期点検等の定期点検だけでなく、日常点検についても丁寧に確認し、異常の早期発見に努めるとともに、設備の保全に必要な措置を積極的に提案するなど、全体を通して、良好な維持管理がされていた。

## （３）移動教室・青少年健全育成事業（青健キャンプ）

22校全ての学校で計画どおり実施することができた。新型コロナウイルス感染症が5類に移行したため、食堂や宿泊棟の利用者数の制約を、学校からの要望により柔軟に対応するとともに、体調不良の生徒への対応も、学校と連携し円滑に対応することができた。アンケート結果による移動教室全体の満足度は91.1%となっている。

青健キャンプについては、令和元年後以降、4年ぶりに9地区での実施となった。地域センターの担当者も初めての職員が多く、実施に向けて丁寧な調整を行ったが、アンケート結果では、食事を中心に、各種の要望が寄せられており、全体の満足度は82.3%となっている。

移動教室・青健キャンプ合計で3件の、アレルギー対応に関する食事提供事故が発生したため、食事提供フローの全工程を再点検し、各種の再発防止対策に取り組んだ。

## 4 管理運営経費の収支状況

## 《収入》

項 目	予算額	決算額
委託料	円	円
施設使用料	円	円
食事料金	円	円
合 計	円	円

## 《支出》

項 目	予算額	決算額
人件費	円	円
食材費	円	円
維持管理費	円	円
修繕・工事費	円	円
正面玄関内外及び多目的トイレ開閉装置部品交換	円	円
防火設備是正工事	円	円
温水循環ポンプ整備 (AHU 系統)	円	円
温水循環ポンプ整備 (床暖房系統)	円	円
本社経費	円	円
合 計	円	円

## 《差引》

項 目	予算額	決算額
差引 (利益)	円	円

## (1) 収入

収入について、予算額に対する決算額は、円減の %であった。施設使用料・食事料金で比較すると、予算額に対する決算額は、円減の %となった。新型コロナウイルス感染症による施設利用制限は無くなっているが、令和元年度の実績（施設使用料 円、食事料 円）には届いていない。

各種工事等の清算による委託料の返還は発生していない。

## (2) 支出

支出については、予算額に対し決算額は、円減の %であった。継続

している物価の高騰や、為替の変動により、予定していた改修工事経費が予算超過するなど、難しい運営が続いたが、適切な経費節減や管理運営に努め、事業計画に定められた業務を滞ることなく実施するとともに、XXXXXXXXXX円の営業利益を確保することができた。

## 5 自主事業の実施状況

一般宿泊者を対象に「火起こし体験・森の散策・クラフト体験」などのプログラムを延べ8回実施した。宿泊型イベントとして、一泊の親子キャンプや、親子スキーを計2回実施した。体験イベント・宿泊型イベントともに、参加者からは好評を得ている。その他、各種のレンタルや、物販を、計画どおり年間を通じて実施した。

## 6 所管課の評価等

### (1) 評価

施設の維持管理については、各種の保守点検や清掃、個人情報の管理など、年度協定に定める業務全般について適切に実施できている。また、現在の指定管理者が有するノウハウを活かしたアウトドアイベントについても積極的に取り組み、ハケ岳荘のロケーションを活かした運営ができている。

利用者アンケート調査の結果では、施設全体の満足度 94%、食事内容の満足度 89 %、職員対応の親切さ 92%と良好な評価を得ている。なお、アンケート回答者の 99%が「また利用したいと思う」と回答している。

ハケ岳荘はリピーターの利用が多いことから、飽きさせない工夫として、アウトドアを中心とした事業（アクティビティを含む）展開は非常に有効と言える。

### (2) 今後の課題等

複数回発生したアレルギー対応に関する食事提供事故を受け、是正勧告を行っていることから、同様の事故が発生しない体制の構築及びその継続ができているかを定期的にモニタリングする必要がある。

本格的に再開した青健キャンプにおいて、食事を中心に各種の要望が寄せられていることから、内容を精査しながら改善していくとともに、所管部署と丁寧に調整し、安全な青健事業の実施に取り組んでいく。

他自治体の移動教室の受け入れが増回している。移動教室は基本的に平日に実施するため、一般利用者との競合が少ないことから、施設の運営効率を高めるという点で非常に効果が高い。この需要を積極的に取り込むための広報活動について検討していく必要がある。

## 令和 5 年度榛名林間学園指定管理業務にかかる事業報告の概要

生涯学習課

### 1 施設利用状況

令和 5 年度利用者数	延 6,868 人	前年比	119.4%
うち有料利用者数	1,744 人	前年比	128.3%

(延数)	区立小学校 移動教室	青健事業	社会教育団体 (少年団体等)	一 般	合 計
令和 5 年度	4,374 人	678 人	804 人	1,012 人	6,868 人
令和 4 年度	4,299 人	46 人	697 人	711 人	5,753 人
前年比 (増減数)	101.7% (75 人増)	147.4% (632 人増)	115.3% (107 人増)	142.3% (301 人増)	119.4% (1,115 人増)

総利用者数については、令和 4 年度と比べ 1,115 人増となり、前年比 119.4%であった。増加の要因としては、コロナ禍以降の社会環境変化に伴い、青健事業や一般利用の増加率が昨年度と比べ高くなっている。

一方、区立小学校移動教室については、令和 5 年度も一泊二日（コロナ禍以前は二泊三日）の日程で実施していることから、コロナ禍以前の令和元年度の利用実績である 11,471 人とは、依然として乖離が出ている。

### 2 管理運営業務実施状況

#### (1) 施設の管理運営

榛名林間学園については、丁寧な清掃による清潔な施設維持や、食事提供における提供時間の工夫（利用者が温かい状態で食べられる）、丁寧な事前打ち合わせや当日の利用者への親切な対応など、長い運営経験で蓄積されたノウハウを活かした適正な管理運営が事業計画どおり実施されている。

#### (2) 施設の維持管理

施設の維持管理について、施設の内外ともに設備保守点検や清掃、通常の受付業務等全般において、適切に行われた。故障・不具合が発生した場合は、速やかに対応策を含めた報告書が提出され、緊急性や重要度を考慮しつつ適切に維持管理されていた。

施設内外は日常の見回り、点検時に危険箇所・破損等を調べており、簡易な補修は職員が行っている。不具合については、施設の安全・円滑な管理運営に関わるかを精査し、予算をもとに優先順位をつけて修繕を進めている。

## 【令和 5 年度の主な修繕】

体育館非常灯設備修繕・管理棟屋根修繕・館内放送設備修繕など、計 13 件

## 3 利用者サービスの向上

## (1) 利便性向上事業

Wi-Fi 接続サービス・榛名湖バス停までの送迎・施設周辺状況の提供・食堂での飲料提供・キャンプファイヤー用の薪販売等による利便性の向上事業を行っている。

利用受付時には、食物アレルギーに関する事前確認を含め、寒冷な施設環境や周辺状況について細かな説明を行い、利用者が安心・安全な利用ができるよう配慮していた。冬季利用者に対しては、到着前に部屋を暖める、廊下にストーブを設置するなどの対応を行い、寒冷な施設内で快適な時間を過ごせるよう配慮したサービスを行った。

また、施設内にはエレベーターがないため、特に車いす等障がいのある利用者や高齢者に対しては、車を横付けできる入口への案内や館内での移動が行いやすい部屋を優先して割り当てる等、バリアフリー未対応の施設内で利用者が快適に過ごせるよう意識した細やかな対応が行われている。

## (2) アンケートの実施

利用者アンケートの調査では、施設満足度 93.8%、食事満足度 95.2%、職員対応満足度 98.5%と非常に高い評価を得ている。なお、アンケートにて寄せられた利用者の意見・要望には極力応えられるよう改善に努めている。

## 4 管理運営経費の収支状況

## 《収入》

項 目	予算額		決算額	
委託料		円		円
施設利用料		円		円
食事売上		円		円
合 計		円		円

## 《支出》

項 目	予算額		決算額	
人件費		円		円
食材購入費		円		円
その他管理運営経費		円		円
修繕・工事費		円		円

本社経費			円			円
合 計			円			円

《差引》

項 目	予算額			決算額		
差引（利益）			円			円

### （１）収入

収入合計については、予算額に対し決算額が■■■■円減の■■■%であった。項目別の予算額に対する決算額の割合では、施設利用料■■■%、食事売上■■■%となっており、コロナ禍以降の社会環境下における利用者想定まで、実際の利用が回復していない状況となっている。

### （２）支出

支出合計については、予算額に対し決算額が■■■■円減の■■■%であった。差異については管理運営費の一部である光熱水費が大きく影響しており、令和５年度の冬季は比較的暖かい日が多くなったことから、当初の想定よりも低い執行状況となっている。

## ５ 自主事業の実施状況

令和５年度の自主事業は、事業計画に基づき３つの事業やオードブル・食材（バーベキューセット）の提供、自動販売機による飲料販売等を実施した。

昨年度は、悪天候や新型コロナウイルス感染症の影響による急なキャンセルが目立った事業についても、今年度は参加者増となっている。

自主事業への参加者からのアンケート調査でも、食事や体験の楽しさ・職員の対応など、全ての事業で高い評価を得られている。

## ６ 所管課の評価等

### （１）評価

施設の維持管理について、施設の内外ともに設備保守点検や清掃・通常の受付業務等全般において、計画書のとおり適切に行われた。工事・修繕についても緊急性や重要度を考慮しつつ迅速に対応している。

運営全般の評価としては、設備は老朽化しているが、これまでの長い運営経験で蓄積したノウハウを活かした工夫により、利用者への満足度を高める運営が行われており、利用者アンケート結果でも、施設満足度 93.8%、食事満足度 95.2%、職員対応満足度 98.5%と非常に高い評価となっている。



(2) 今後の課題

令和 6 年度末に施設が廃止となるため、大規模な設備更新は計画されていない。そのため、現在の老朽化している設備や施設を指定管理者と連携しながら適切に保全し、寒冷かつ湿度の高い気候において、利用者が安全で快適に過ごせる環境を維持するとともに、施設の廃止・解体にむけ、関係各所との情報共有や協議を進めていく。

## 令和 5 年度教育科学館指定管理業務にかかる事業報告の概要

生涯学習課

## 1 施設利用状況

区 分	入館者数	プラネタリウム観覧者数
令和 5 年度	219,688 人	51,122 人（うち有料投影 36,003 人）
令和 4 年度	166,336 人	33,208 人（うち有料投影 26,432 人）
前年比 （増減数）	132.1% （53,352 人増）	153.9% （17,914 人増、うち有料投影 9,571 人増）

令和 5 年度の入館者数は、前年に比べ 53,352 人の増（前年度比 132.1%）となった。プラネタリウムの観覧者数については、前年に比べ 17,914 人の増（前年度比 153.9%）という状況である。

現在の指定管理者の運営となった、令和 4 年以降、入館者数・プラネタリウム観覧者数ともに 2 年連続して 130%以上の進捗を続けており、令和元年度の実績（入館者数 203,126 人、観覧者数 44,455 人）を超える実績となった。

## 2 管理運営業務実施状況

## (1) 事業運営

令和 5 年度の事業運営全般については、事業計画に基づき下記①～⑥のとおり実施した。

## 【主な事業実績】

## ①校外教授

名称	内容・対象など	実績（参加者数）
移動教室	区立小学校 52 校の 4 年生を対象	4,034 人
移動教室（希望校）	希望校を対象（区立中学校）	0 校（希望無）
出前理科実験教室	希望校を対象	31 件 1,734 名

## ②科学展示

名称	内容・対象など	実績（参加者数）
地下展示（常設）	毎月 2 回技術者による点検を行い、安全な運営に努めた。	常設（開館日全日） 観覧料無料
企画展	学校長期休暇期間を目安に実施する、特定のテーマに関する展示。	年 5 回実施 延べ 152,812 人参加

## ※主な企画展

春季「ラボ祭り 研究員の活動をぜんぶ展示します展」期間 4 月 1 日～5 月 7 日

夏季「夢と科学の関係展 冒険家 阿部雅龍と板橋人たち、まだ見ぬ景色を見つめて・・・」

期間 7 月 22 日～8 月 31 日

## ③科学教室

名称	内容・対象など	実績（参加者数）
科学教室	ストームグラス、電子工作、豚の眼の解剖等	年 34 回実施 延べ 269 人参加
上級科学教室	より高度かつ専門的な内容 ※外部講師を招聘した講座が中心	年 8 回実施 延べ 94 人参加
自然体験教室	教育科学館近隣での樹木観察	年 1 回実施 8 組参加
第 11 回いたばし自由研究作品展	区内在住の小中学生を対象に、夏休みの自由研究作品を募集し優秀作品の表彰を行う	127 作品応募
イベント型科学事業	科学館職員の専門性を活かした科学教室 骨格標本・視聴覚メディア・幼児向け・岩石標本 等	9 研究室開設 年 178 回実施 延べ 2,301 人参加
	サイエンスフェスタ (事前予約性ワークショップ)	9 期間実施 延べ 3,208 人参加
	当日参加ワークショップ	延べ 9,430 人参加
	サイエンスショー 科学に関する実験ショーや、外部講師を招聘したトークショー	年 51 回実施 延べ 2,441 人参加

## ④天文（プラネタリウム等）

名称	内容・対象など	実績（参加者数）
一般向け投影	科学館指導員による生解説投影	4,708 人／年間
プラネタリウム番組	アニメ番組や学習番組投影 希望校を対象	28,634 人／年間
特別投影	天文現象や季節に合わせた投影希望校を対象	979 人／年間
学習投影	移動教室での投影	4,153 人／年間
幼児向け投影	幼児向けの番組投影	9,117 人／年間
その他	星を見る会・プラネタリウムコンサート 等	1,368 人／年間

## ⑤パソコン教室

名称	内容・対象など	実績（参加者数）
プログラミング講座	教材「ME S H」を使用した教室	年間 64 回実施 延べ 568 人参加
ロボットプログラミング講座	教材「K O O V」を使用した教室	年間 84 回実施 延べ 851 人参加
ファーストレゴリーグ	世界最大規模の国際的なロボット競技会 ※令和 5 年度は全国大会に出場した。	年間 25 回実施 7 名 1 チーム
プログラミング体験	ブロック玩具や「K O O V」の体験	年間 50 回実施 延べ 521 人参加

## ⑥ その他

- ・地域イベントへの参加（常盤台桜まつり・板橋区民まつり等）
- ・区内団体の要望に応じた「出前ラボ」（2か所）
- ・中央図書館との連携事業（図書館 1F ボローニャ絵本館前展示ブースでの科学館展示）
- ・エコポリスセンター・熱帯環境植物館・リサイクルプラザ・中央図書館との共催による夏休み連携事業「デジタルスタンプラリー」

## (2) 施設の維持管理

建物維持管理、備品管理、清掃・環境衛生管理等の維持管理については、法定点検、日常点検を適切に実施し、いつでも問題なく稼働できるよう努めている。特に多くの方が利用する地下展示については、公開前の点検や動作確認、月 2 回の技術者による点検、修繕など、安全管理に留意した。更に、スタッフの指導・育成についても、計画的に研修等を行い、関係法令や個人情報の保護取扱規準等の順守など、安全で安定した施設運営に取り組んだ。

施設・設備の修繕工事は、必要性のある修繕か精査し、適切に行われていた。その他、各種の保守点検や定期点検だけでなく、日常点検についても丁寧に確認し、異常の早期発見に努めるとともに、設備の保全に必要な措置を積極的に提案するなど、全体を通して、良好な維持管理がされていた。

## 3 利用者サービスの向上

## (1) 広報

広報いたばし、科学館ニュースといった従来の広報手段に加えて、SNS（フェイスブック、ツイッター、LINE）を活用し、各年代に適した広報活動を行った。

事業数自体を増加させるとともに、企画展や各種のイベント等を積極的にプレスリリースし、認知度の向上を図った。

結果、サービス水準として設定している、ホームページの閲覧件数、ツイッターフォロワー数、マスコミ・情報誌の登場回数に関し、全て目標値を達成した。

## (2) アンケートの実施

プラネタリウム投影と科学事業において利用者アンケートを実施した。プラネタリウムは「大いに満足」「満足」の割合が 94.0%、科学事業は 97.2%となるなど、高い評価を得ている。

## 4 管理運営経費の収支状況

## 【収入】

項 目	予算額	決算額
委託料	円	円
プラネタリウム観覧料	円	円
施設貸出使用料	円	円
各種教室参加費等	円	円
コンサート入場料等	円	円
合 計	円	円

## 【支出】

項 目	予算額	決算額
人件費	円	円
維持管理経費	円	円
事業運営費	円	円
修繕・工事費	円	円
冷温水ポンプ取替委託	円	円
照明器具更新委託	円	円
本社経費	円	円
合 計	円	円

## 【差引】

項 目	予算額	決算額
差引（営業利益）	円	円

## (1) 収入

令和5年度の収入について、予算額に対する決算額は、円増の％であった。内訳としては、積極的な事業展開や、人気キャラクターのプラネタリウム番組投影などにより、予算額に対する決算額の割合が、プラネタリウム観覧料％、各種教室参加費等％と、事業運営に伴う収入について計画を超える額を確保することができた。

委託料（指定管理料）については、当初予定していた冷温水ポンプ取替の経費の他、補正予算により、地下1階図書コーナー照明の更新経費が措置された。

令和5年度については、未履行事業の経費や、修繕工事費の残額等、清算に伴う区への戻入は発生していない。

## (2) 支出

支出については、予算額に対し決算額は、円増の％であった。内訳としては、予算額に対する決算額の割合が、維持管理費％、事業運営費117.2％と、適切な経費節減や管理運営に努める一方、各種事業を積極的に開催し、収入増につなげ

ることができた。

最終的な営業利益は、予算額に対し決算額は■■■■円増の■■■%となった。

## 5 自主事業の実施状況

指定管理者の科学教育ノウハウを活かしたワークショップやサイエンスショー等の事業実施や、カプセルトイの販売を行った。

## 6 所管課の評価等

### (1) 評価

令和4・5年度と2ヵ年の運営の中で、単純な過去の踏襲ではなく、各事業それぞれに現在の科学館の姿勢を落とし込み、改善を続けている点は非常に評価できる。特に令和5年度は、「ラボ」として科学館の職員の専門性を活かした事業を展開し、「板橋区立教育科学館」のオリジナリティを高めることができた。更に、科学館の活動を館内だけでなく、積極的にアウトリーチしていくなど、従来の科学館のイメージを超えた構想を有して運営しており、今後の事業展開についても期待できる。

設備の維持管理についても、各種設備点検を行い、耐用年数を超過した部品の交換や、今後の保全方法に関しての提案ができています。また、設備に関して不具合が発生した際は、メーカーと原因の究明や対応方法について丁寧に確認し、適切な復旧計画を立てるなど、非常に効果的な施設管理が行われている。

### (2) 今後の課題

様々な事業展開により利用者数は増加しているが、曜日別に分析すると、平日の利用者数が多いとは言えない。この点については事業者も認識しており、高齢者や幼児の取り込みを意識した事業の企画や実施を行っており、課題ではあるが今後に展開に期待ができる。

施設の経年劣化については継続的な課題となっており、特にプラネタリウムは修理に必要な部品の生産も終了しており、稼働できない場合、運営に大きな影響が出ることから、速やかに更新を検討する必要がある。また、地下展示室の更新やトイレの洋式化についても、利用者から要望が寄せられていることから、計画的な設備更新について、関係部署と協議を進めていく必要がある。

## 令和5年度シニア学習プラザ指定管理業務にかかる事業報告の概要

生涯学習課

## 1 施設利用状況

	利用者数	稼働率
令和5年度	66,666 人	56.4%
令和4年度	66,190 人	57.8%
前年比 (増減数)	100.7% (476 人増)	-1.4 P

## 【稼働率内訳】

## 2023年度 年間稼働率

実働360日

室名	午前	午後	夜間	稼働可能件数	利用件数	稼働率%	総稼働可能件数	総利用件数	総稼働率
教室 1A	96	103	78	1302	502	38.6%	2160	1362	63.1%
教室 1B	91	79	62						
教室 1合計	187	182	140						
教室 2A	100	121	97	1374	610	44.4%	2160	1402	64.9%
教室 2B	95	117	93						
教室 2合計	195	238	190						
教室 3	124	163	149	885	431	48.7%	1080	629	58.2%
ホールA	216	275	141	2160	1159	53.7%	2160	1159	53.7%
ホールB	148	211	142						
ホール合計	364	486	283						
集会室1	163	233	72	1080	479	44.4%	1080	479	44.4%
集会室2	115	287	52	1080	450	41.7%	1080	450	41.7%
計	1148	1589	886	7881	3623	46.0%	9720	5481	56.4%

稼働可能件数・・・カレッジ枠以外の総数(自主事業含む)と、カレッジ枠で使用した自主事業  
 総稼働可能件数・・・カレッジ枠も含む(使用していなくても数える)

令和5年度の利用状況は、利用者数 66,666 人・施設稼働率 56.4%となり、前年度の利用者数 66,190 人・施設稼働率 57.8%と比較し、ほぼ同水準となった。

## 2 管理運営業務実施状況

## (1) 施設の管理運営

令和5年度は、指定管理5年目(最終年度)である。利用者アンケートでも、「サービス全般的な満足度」について、「とても満足」「満足」と回答した割合は84%であった。また、当該指定管理者が力を入れている清掃面では、85%の利用者が満足していることから、清潔かつ安定した施設管理が行われている。

## (2) 施設の維持管理

施設・設備の保守点検業務については、再委託業務を含め年度協定、仕様書及び事業計画書のとおり適切に実施した。設備の不具合等による修繕については、施設への影響を考

慮しながら合計 8 件の修繕を実施した。

【主な修繕工事】

- ・プロジェクター映像ケーブル交換（教室 1・2）
- ・プロジェクターランプユニット交換（教室 1）
- ・空調設備不具合修繕（3・4 階）

### 3 事業実施状況

#### （1）高齢者大学校業務支援

##### ＜グリーンカレッジコース定員・講座数一覧＞

教科（コース）	定員		講座数	
	令和 5 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 4 年度
教養課程	1 6 0 人 (※)	1 6 0 人 (※)	1 8 回	1 8 回
専門課程 健康福祉	8 0 人	8 0 人	1 8 回	1 8 回
専門課程 文化文学	8 0 人	8 0 人	1 8 回	1 8 回
専門課程 社会生活	8 0 人	8 0 人	1 8 回	1 8 回
大学院 健康福祉	3 0 人	3 0 人	1 3 回	1 3 回
大学院 文化文学	3 0 人	3 0 人	1 3 回	1 3 回
大学院 社会生活	3 0 人	3 0 人	1 3 回	1 3 回

(※) 午前・午後各 8 0 名ずつ計 1 6 0 人

##### ＜グリーンカレッジ参加者数実績＞

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
令和 5 年度	1 5 2 人	1, 3 1 9 人	7 4 2 人	1, 1 5 6 人	3 6 3 人	6 7 2 人
令和 4 年度	3 0 5 人	1, 0 6 4 人	1, 2 5 3 人	1, 1 1 6 人	2 2 4 人	9 4 1 人
	1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月
令和 5 年度	8 3 7 人	1, 0 0 3 人	8 7 0 人	7 8 8 人	7 2 3 人	2 1 3 人
令和 4 年度	8 3 3 人	7 9 8 人	9 3 8 人	6 7 5 人	8 9 2 人	1 9 4 人

【合計】

令和 5 年度：8, 8 3 8 人（前年比 9 5. 7 % △ 3 9 5 人）

令和 4 年度：9, 2 3 3 人

高齢者大学校事業の補助業務については、会場設営・撤収、受付補助、資料印刷等、滞りなく実施した。



## (2) 提案事業

指定管理事業者からの提案により実施する「提案事業」についての前年度との比較は以下のとおりである。

	提案事業実施回数	参加人数
令和5年度	211回	6,802人
令和4年度	180回	5,992人
前年比 (増減数)	117% (31回増)	114% (810人増)

令和5年度においては、事業の多世代化を促進するため、事業の参加要件であった「50歳以上」を廃止したことで、以前から実施している事業に50歳以下の参加者が増加した。

また、多世代化を促進する事業体系である「夏休みカレッジ子ども塾」を展開し、小学生を対象とした、「キッズイングリッシュ」「サイエンスアートLABO」「チアダンス」等の講座を開催した。その他、参加者から好評を得ている「地域交流コンサート」を6回（昨年度は4回）実施するなど、合計211回の事業を実施し、6,802人が参加したほか、オンライン講座も別途45回実施をした。

令和5年度の提案事業の実施結果については次ページのとおりである。

令和5年度 提案事業一覧表

事業名	実施計画	予定 回数	実施結果	実施 回数	参加 人数	オンライン講座	オンライ ン講座 数
GCH 地域交流 コンサート、演劇	5月:沖縄コンサート 6月:フルートとギターコンサート 10月:カヤ グムコンサート 11月:ブルーグラスコンサート 12月:マンドリン コンサート 1月:落語 2月:地域コンサート	5	5月:沖縄コンサート 月:フルート・オカリナとギターコンサート 10月:カヤグムコンサート リハ1回 12月:マンドリンコンサート リハ1回 2月:落語 3月:地域マンドリンコンサート	6 8	896	インスタグラムにアップ	6
グリーンカレッジ受講者 プレゼンツ事業・夏休みこども塾・キッズイングリッシュ	8月:夏休み こども塾(月2回/14講座) 7月:キッズイングリッシュ(7月1回・8月1回)	16	8月:夏休みグリーンカレッジ塾、キッ ズイングリッシュ(2回:13講座)	18	101	インスタグラムにアップ	3
GCH 周年記念行事(ホール発表会・作品展)	7月:14周年アニバーサリー発表会・説明会1日・リハーサル4日間 9月:14周年アニバーサリー作品展(3日間)・説明会1日	10	7月:14周年アニバーサリー発表会・説明会1 日・リハーサル4日間 9月:14周年アニバーサリー作品展(3日間)・説 明会1日	10	2881	インスタグラムにアップ	4
韓国語体験教室 体験教室～全4回～	韓国語・体験教室:4月～6月	4	韓国語・体験教室:10月～11月	4	83	インスタグラムにアップ	1
ウクレレ教室 基礎コース～全12回～	ウクレレ教室 基礎コース:4月～8月	12	ウクレレ教室 基礎コース:4月～7月	12	231	初日・卒業発表会インスタグラム	2
水墨画教室 初心者コース～全12回～	水墨画教室 初心者コース:4月～3月	12	水墨画教室 初心者コース: 4月～3月	12	156	インスタグラムにアップ	2
鉛筆画講座 ステップアップコース～全12回～	鉛筆画講座 ステップアップコース:4月～3月	12	鉛筆画講座 ステップアップコー ス:4月～3月	12	176	インスタグラムにアップ	2
実用英会話教室 初心者コース～全10回～	実用英会話教室 初心者コース:4月～7月	10	実用英会話教室 初心者コース: 4月～7月	10	167	インスタグラムにアップ	1
大人が楽しむダンス教室～ディスコクラス～全8回～	大人が楽しむダンス教室～ディスコクラス:5月～7月	8	大人が楽しむダンス教室～ディス コクラス:10月～2月	8	81	インスタグラムにアップ	1
大人が楽しむダンス教室～ポップスクラス～全8回～	大人が楽しむダンス教室～ポップスクラス:5月～7月	8	大人が楽しむダンス教室～ポップ スクラス:10月～2月	8	74	インスタグラムにアップ	1
似顔絵教室 初心者コース～全6回～	似顔絵教室 初心者コース:5月～7月	6	似顔絵教室 初心者コース:5月～7月	6	102	インスタグラムにアップ	1
水彩画レベルアップコース～全10回～	水彩画レベルアップコース:6月～3月:10回	10	水彩画レベルアップコース: 6月～3月:10回	10	175	インスタグラムにアップ	1
フラ教室 初心者コース～全8回～	フラ教室 初心者コース:4月～6月	8	フラ教室 初心者コース:4月～6月	7	119	初日の様子をインスタグラムにアッ プ	1
ウクレレ教室 ステップアップコース～全10回～	ウクレレ教室 ステップアップコース:10月～2月	10	ウクレレ教室 ステップアップ コ ース:10月～2月	10	216	初日の様子をインスタグラムにアッ プ	2
健康イスヨガ教室～全10回～	健康イスヨガ教室: 4月～8月 健康イスヨガ教室:10月～3月	20	健康イスヨガ教室: 4月～8月 健康イスヨガ教室:10月～3月	20	400	初日の様子をインスタグラムにアッ プ	2
英語教室 初心者コース～全10回～	英語教室 初心者コース:10月～2月	10	実用英会話教室 初中級者コー ス:10月～3月	10	230	インスタグラムにアップ	2
水彩画教室 入門コース～全10回～	水彩画教室 入門コース:11月～3月	10	水彩画教室 入門コース:11月～ 3月	10	148	インスタグラムにアップ	2
鉛筆画講座 基礎コース～全10回～	鉛筆画講座 基礎コース:4月～7月	10	鉛筆画講座 基礎コース:11月～ 3月	10	154	初日の様子をインスタグラムにアッ プ	2
フラワーアレンジメント～ガラスの靴編～ ～しめ縄飾り編～	フラワーアレンジメント～ガラスの靴編～:4月 ～しめ縄飾り編～:12月	2	フラワーアレンジメント ～ガラスの靴編～:4月 ～しめ縄飾り編～:12月	2	42	初日の様子をインスタグラムにアッ プ	4
小粋に踊る盆踊り教室～全8回～	小粋に踊る盆踊り教室:4月～7月	8	小粋に踊る盆踊り教室: 4月～7 月	8	236	初日の様子をインスタグラムにアッ プ	1
チアダンス体験教室～全6回 大人クラス・キッズクラス	チアダンス体験教室:大人クラス・キッズクラス:1月～3月	12	チアダンス体験教室: 大人クラス・キッズクラス: 1月～3月	12	94	インスタグラムにアップ	2
太極拳体験教室～全2回	太極拳体験教室:10月	2	太極拳体験教室:10月	2	28	インスタグラムにアップ	1
親子で知ろう!運動能力を育てる方法	親子で知ろう!運動能力を育てる方法:2月	2	親子で知ろう!運動能力を育てる方法:2月	2	12	インスタグラムにアップ	1
合計		207		211	6802		45

## 4 利用者サービスの向上

### (1) 広報

ホームページに掲載する情報コンテンツの増加や、動画・SNS配信を拡大し、若年層への訴求を強化したほか、キッズ向け講座の増加に伴い、近隣の保育園や図書館の協力得てポスター等を掲示した。

### (2) アンケートの実施

利用者アンケートについては、通常の施設利用者アンケートと、提案事業の参加者に対するアンケートの二種類を実施している。利用者アンケート結果について、職員・ス

タッフの対応は「とても満足」「満足」の割合が 89.0%、施設のサービス全般の満足度は「とても満足」「満足」の割合が 84.0%となっている。なお、提案事業参加者アンケートについては、98.0%が「満足」と回答している。

施設利用、提案事業ともに、約 8 割以上の方が、高く評価しており、現状の利用者のニーズに適切に対応できている。

## 5 管理運営経費の収支状況

### 【収入】

項 目	予算額	決算額
委託料	円	円
施設利用料等収入	円	円
合 計	円	円

### 【支出】

項 目	予算額	決算額
人件費	円	円
事業運営費	円	円
施設・設備維持管理費	円	円
事務費	円	円
本社経費	円	円
合 計	円	円

### 【差引】

項 目	予算額	決算額
差引（利益）	円	円

#### （1）収入

収入に関する予算額に対する決算額は 円減の % となり、概ね予算どおりの収入となった。施設利用収入の内訳については、予算額と比較して提案事業に伴う収入が 104.1%、一般貸出に伴う収入が % となっている。

なお、年度協定に定める清算項目であるキャッシュレス決済の手数料について、余剰が発生したことから、 円を区に戻入した。

#### （2）支出

人件費は概ね予算どおりの支出となっている。施設・設備維持管理費について、計画外の修繕が必要となったが、各種の執行調整を行いながら修繕に必要な経費を捻出し、最終的には支出予算内で運営することができた。

## 6 所管課の評価等

### (1) 評価

施設の維持管理全般について事業計画に基づき適切な運営が行われている。特に、令和5年度は、想定外の修繕が発生したが、各種の経費を調整し予算内で運営することができた。

提案事業についても、当課の目的である多世代に向けた学びの機会の拡大を理解し、「夏休み子ども塾」や年齢制限の廃止など、積極的に取り組み、昨年度を上回る合計211回の事業を開催した。

利用者アンケート調査による施設及び事業への満足度も、8割以上の方が「とても満足」、「満足」という評価となっているだけでなく、利用者アンケートの要望を受け、コンサート回数や譜面台を増やすなど、利用者ニーズにも積極的に対応している。

その他、利用者からの苦情やトラブルも報告されていないことから、適切な施設運営が行われている。

### (2) 今後の課題等

令和5年度は現在の指定管理期間の終期となる。シニア学習プラザの運営については、令和4年度より生涯学習課の所管施設となり、運営方針も高齢者だけでなく多世代に向けた学びの推進に広がった。

指定管理期間中の運営方針の変更について柔軟に対応した提案事業の実施により、利用者の満足度の高い取組みを展開することができている。

施設管理についても、指定管理期間を通じて、コロナ禍や地政学的な要因による物価高騰にも適切に対応し、高い利用者満足度を維持することができている。

令和6年度より新たな指定管理期間なり、グリーンカレッジ事業の運営に関する多くの事務が、指定管理者の業務となったことから、民間の活力を活かし、より利用者にとって満足度の高いグリーンカレッジ事業を展開する必要がある。

令和6年度より、新たな指定管理期間に合わせ、これまで以上に学びの多世代化を促進し、世代や属性の違いを超えた居場所・交流の場となるよう、実施する事業だけでなく広報活動等への工夫が求められる。

# 令和5年度郷土芸能伝承館指定管理業務にかかる事業報告の概要

生涯学習課

## 1 施設利用状況

### 【令和5年度利用者数】

単位：(人)

(延人数)	集会室 (1F)	芸能練習室 (B1F)	合計
令和5年度	3,018	7,676	10,694
令和4年度	2,467	8,438	10,905
前年度比 (増減数)	122.3% (551人増)	91.0% (762人減)	98.1% (211人減)

### 【令和5年度利用件数・稼働率】

単位：(件)

(延件数)	集会室 (1F)	芸能練習室 (B1F)	合計	稼働率
令和5年度	231	525	756	42.4%
令和4年度	239	598	837	40.3%
前年度比 (増減数)	96.7% (8件減)	87.8% (73件減)	90.3% (81件減)	2.1 P 増

【※稼働日数】 令和5年度：集会室 315日、練習室 304日

(令和4年度：集会室 347日、練習室 347日)

利用状況について、令和5年6月から8月にかけて実施した緊急工事に伴う臨時休館等の影響により、利用者数・件数ともに前年度より211人(81件)減となった。一方、新型コロナウイルスが5類に移行され、地域事業が再開されたことなどから、稼働日数に対する施設利用率は前年度より2.1ポイント増加し、42.4%となった。

また、各利用団体においては、会員の高齢化やコロナ禍での会員数減少などを事由に、活動を縮小あるいは休止する団体も見られ、コロナ禍以前の利用水準(令和元年度：利用人数15,143人、稼働率43.5%)までには回復していない状況である。

## 2 管理運営業務実施状況

### (1) 施設の管理運営

令和5年度は、指定期間5年間の4年目にあたる。管理業務全般については、基本協定及び年度協定のとおり実施され、施設貸出、設備の保守・修理、企画・運営協議会等各種会議への出席等、適切に施設の管理運営が行われている。指定管理者本社と現地施設、教育委員会との間において緊密な連携をとり、適切な施

設管理・運営に努めている。

## (2) 施設の維持管理

建築物環境維持管理、清掃、植栽・樹木等の維持管理、保安・警備業務については、業務水準書のとおり法定点検、日常点検を実施している。また、これら全般については、建築基準法、消防法、フロン排出抑制法等の関係法令や個人情報保護に関する取扱基準等を順守し管理を行っている。

また、令和5年度の修繕・工事については、下記の3件を実施し、工事経費は合計[ ]円となった。

### 【令和5年度修繕・工事实績】

- ①「備品太鼓修繕」( [ ] 円)
- ②「照明器具改修工事」( [ ] 円)
- ③「地下倉庫内ガラス扉鍵修繕」( [ ] 円)

## 3 利用者サービスの向上

### (1) 利便性の向上

利用予約の受付について、感染症対策として令和2年5月から導入した郵送受付を、令和5年度も引き続き実施している。利用者からは、予約のために施設へ足を運ぶ必要がなくなり利便性が向上したとして好評を得ている。

また、高齢者や障がい者の施設利用にあたり、職員による積極的な声かけや動線確保を行っているほか、令和5年度は車椅子用の可動式スロープを導入し、ノーマライゼーションに配慮した運営を行っている。

### (2) アンケートの実施

利用者アンケートを実施し、利用者の意見・要望に迅速な対応を行っている。令和5年度利用者アンケートでは、「館に対する満足度」の項目で91%の評価を得ており、特に「職員の対応」、「館内の清掃・衛生面」の項目が高く評価されている。また、空調設備を更新して施設環境を改善したことについても、高く評価する意見が見られた。

一方、施設に対する要望として、太鼓の修繕に関する意見、利用料金に関する意見が見られた。なお、太鼓の修繕については、令和3年度から修繕計画に基づき順次修繕を行っている。

### (3) 施設のPR

館独自のホームページ及びSNS(X(旧Twitter)及びInstagram)を運用し、予約状況や自主事業の開催情報など積極的な情報発信を行っている。令和5年度の情報発信実績は、134件(令和4年度:123件)であった。

#### 4 管理運営経費の収支状況

##### 【収入】

項 目	予算額	決算額
指定管理委託料	円	円
利用料金収入	円	円
合 計	円	円

##### 【支出】

項 目	予算額	決算額
人件費	円	円
施設管理費	円	円
修繕・工事費	円	円
太鼓修繕費	円	円
備品購入費	円	円
本部経費	円	円
合 計	円	円

##### 【差引】

項 目	予算額	決算額
差引（利益）	円	円

##### （１）収入

予算額に対する決算額は、円減の％であった。施設利用料の減少については、緊急工事に伴う臨時休館等が要因と考えられる。

また、指定管理委託料のうち、余剰金（修繕・工事費、太鼓修繕費、備品購入費）については、指定管理者との協議により、円が区に返還された。

##### （２）支出

予算額に対する決算額は、円減の％であった。物価上昇に伴うコスト増加があったものの、事務経費の精査など指定管理者の企業努力により予算額内に収めることができた。

#### 5 自主事業の実施状況

##### 【令和５年度自主事業】

No.	開催日	時 間	内 容	参加費	参加人数	満足度 (※)
1	4月2日	10:00～11:30	ルディックウォーキング と春の徳丸散歩	1,000 円	13 人	91%
2	4月22日	①13:00～14:00 ②14:30～15:30	まゆ玉でこいの ぼりを作ろう	500 円	16 人	100%

3	5月20日	14:00～15:00	郷土芸能講座～田遊びの世界	100円	4人	100%
4	9月2日	①11:00～12:00 ②13:00～14:00	はじめての和楽器体験会	0円	26人	100%
5	10月15日	①10:30～11:30 ②12:30～13:30 ③14:30～15:30	水引 de アクセサリー①	1,000円	15人	90%
6	12月9日	14:00～15:00	アフタヌーンコンサート①	1,000円	9人	100%
7	12月10日	①11:00～12:00 ②13:00～14:00	クリスマスクラフト	500円	21人	100%
8	1月27日	14:00～15:30	アフタヌーンコンサート②	1,000円	16人	100%
9	2月24日	①10:30～11:30 ②13:00～14:00 ③15:00～16:00	水引 de アクセサリー②	1,500円	17人	100%
10	3月2日	11:00～12:00	はじめての和太鼓体験	200円	4人	100%

(※) 未回答含まず

施設の設置目的の範囲内で、指定管理者の自己資金と創意工夫による自主事業を実施している。普段施設を利用しない地域住民が施設へ足を運ぶ機会となり、施設や郷土芸能の周知、利用者層の拡大などに貢献している。

令和5年度は、10回の自主事業を実施し、年間参加人数は141人となった。参加者アンケートの「満足度」の項目において、いずれも良好な評価を得ている。

## 6 所管課の評価等

### (1) 評価

施設の維持管理について、年度協定どおり管理運営が行われており、収支状況においても適正な執行が行われている。臨時休館時においても、利用者へ丁寧な説明を行っており、また、新型コロナウイルスが第5類に移行する中、引き続き感染症対策を継続し、利用者が安心・安全に利用できる運営が行われている。

自主事業について、令和5年度は子ども向けの事業を意欲的に展開しており、参加者アンケートではいずれも高い満足度評価を受けている。また、参加者には初めて施設を利用する区民も多く、普段施設を利用しない層へのアプローチとして、施設の認知度向上にも貢献しているものと評価できる。

### (2) 今後の課題

施設設置から36年が経過し、老朽化による設備の不具合は避けられない課題である。引き続き指定管理者と連携して保全に努め、利用者が安心・安全・快適に利用できる施設環境を管理・整備していく必要がある。

また、区の文化継承・情報発信の拠点である郷土芸能伝承館の施設知名度の向上は重要な課題である。令和5年度においても利用者数がコロナ禍以前の水準ま



で回復しておらず、施設知名度を向上することで利用者の増加につなげていく必要があり、施設や郷土芸能に関する情報発信力を強化していくことが今後の課題となる。

さらに、区内に点在する文化資源、なかでも施設の近隣に立地している東京都指定有形文化財「旧粕谷家住宅」との連携については、令和6年度において、指定管理者のノウハウを活用し、旧粕谷家住宅と連携した自主事業等を実施していく。